

カミとホトケの幕末維新

龍谷叢書46

いわた まみ きりはけんしん

岩田真美、桐原健真編

▼A5判・並製カバー・三九〇頁・本体二、〇〇〇円十税

2018年11月刊行



近世と近代を分断する転換期と捉えられてきた幕末維新时期を、文化史的側面から再検証し、「近代のなかの近世」を探ることで、近世・近代の結節点として幕末維新时期を描く画期的試み。

【目次】

はじめに

コラム 明治百年と一九六八年の宗教界 (桐原健真) (大澤広嗣)

第一部 維新とカミとホトケの語り

神仏分離研究の視角をめぐって (上野大輔)

コラム 孔子の変貌——儒学と明治日本 (桐原健真)

日本宗教史学における廃仏毀釈の位相 (オリオン・クラウタウ)

コラム 廃仏毀釈と文化財 (碧海寿広)

「世直し」の再考察——宗教史的観点から (三浦隆司)

コラム 宗門檀那請合之掟 (朴澤直秀)

「民衆宗教」は誰を語るのか

——「民衆宗教」概念の形成と変容 (青野 誠)

コラム 維新を迎えられずとも (青野 誠)

——鳥伝神道の断絶と「民衆」

第II部 新たな視座からみた「維新」

幕末護法論と儒学ネットワーク (岩田真美)

——真宗僧月性を中心に

コラム 勤王・護法の実践 (高橋秀慧)

——真言宗の勤王僧

排耶と攘夷——幕末宗教思想における後期水戸学の位相 (桐原健真)

コラム 京坂「切支丹」一件 (松金直美)

維新前後の日蓮宗にみる国家と法華経

——小川泰堂を中心に (ジャクリン・ストーン)

コラム 仏教教導職の教化活動 (芹口真結子)

明治維新にみる伊勢神宮

——空間的変貌の過程 (ジョン・ブリーン)

コラム 幕末京都の政治都市化と寺院 (高橋秀慧)

第三部 カミとホトケにおける「維新」の射程

幕末維新时期のキリスト教という「困難」 (星野靖二)

コラム 幕末維新のキリスト教伝道 (落合建仁)

幕末／明治前期の仏書出版 (引野亨輔)

コラム 絶対的創造神への批判 (引野亨輔)

——釈雲照のキリスト教観① (船田淳一)

仏教天文学を学ぶ人のために

——佐田介石と幻の京都「梵曆学校」が意味するもの (谷川 穰)

コラム 天主とは何者か (谷川 穰)

——釈雲照のキリスト教観② (船田淳一)

社寺領上知令の影響——「境内」の明治維新 (林 淳)

コラム 明治は遠くなりにつけり (林 淳)

——明治仏教史編纂所のこと (大谷栄二)

あとがき (岩田真美)

執筆者紹介

注文書	
(書店印)	様 冊
ご担当	法藏館 本体二、〇〇〇円十税
岩田真美、桐原健真編 カミとホトケの幕末維新 ——交錯する宗教世界——	
ISBN: 978-4-8318-5555-8 C1021	住所
お名前	お電話

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

思想史・幕末